「小学校」の免許を取得する場合の専門科目 (教育学部専門科目と教育職員免許法施行規則に掲げる科目との対照表)

免 許 科 目 区 分 等 国 語 (書写を含む。) 社 会	授業科目及び単位 授業 科 目 知知を見る	単位	免許所		/#± ±z.	
		单1//		OFF	備考	
		—	1種	2種	国語 (書写を含む。) , 社	
	初等国語	2			国語(音子を含む。),私 会,算数,理科,生活,音	
	初等社会	2			楽, 図画工作, 家庭, 体育	
算数	算数科研究	2			及び 外国語 の教科及び教	
理科	初等理科	2			科の指導法に関する科目	
生活	生活科研究	2	1 0	4	のうち1教科以上の科目 について修得するものと	
音楽	初等音楽	1			についく修侍するものとしする。	
図画工作	図画工作	1			/ J 0	
家庭	初等家庭	2				
体 育	初等体育	1				
外国語	小学校英語	1			, Net to a death of the control of t	
					小学校1種免許状 の授与を受け	
	初等社会教育法				る場合にあっては,各教科それ ぞれ1単位以上を修得すること。	
	算数教育法				て401 早世丛上を修侍りること。	
理科	初等理科教育法	2			 小学校2種免許状 の授与を受け	
生 活	生活科教育法	2	2.0	1 9	る場合にあっては6教科以上の	
音楽	初等音楽科教育法	2	20	14	教科の指導法についてそれぞれ	
図画工作	図画工作教育法	2		2単位以上(音楽, 図画工作 又は		
	初等家庭科教育法	2			体育 の教科の指導法のうち2教	
体 育	初等体育教育法	2			科以上を含む。) を修得するこ	
外国語	小学校英語教育法	2			と。	
計			3 0	1 6		
での理念並びに教育に関する歴史 で思想	◎教育原論	2				
成の意義及び教員の役割・職務内 (チーム学校運営運営への対応を g。)	◎教職概論	2				
に関する社会的、制度的又は経	○教育社会学	2				
	○教育経営学	2				
			1 0	6		
*日Vノ四任						
の支援を必要とする幼児, 児童 「生徒に対する理解	○特別支援教育基礎論	2				
までに対するを所 が課程の意義及び編成の方法(カ ・ュラム・マネジメントを含む。)	◎学校教育課程論	2				
の理論及び指導法	◎道徳教育論	2				
的な学習の時間の指導法	◎総合的な学習の時間の指導法	1				
活動の指導法	◎特別活動論	1	10 6			
での方法及び技術 強通信技術を活用した教育の理論 で方法	◎教育の方法と技術(情報 通信技術を活用した教育 の理論及び方法を含む。)	2				
	社 会 算 数 理 科 生 活 音 楽 図画工作 家 庭 体 育 外国語 か 理念並びに教育に関する歴史 思想の意義及び教員の役割・職務内 の理念が変とでであるがであるがである。) に関項(のか対応をといるがはといるであるが対応をといるが対応を含む。) に関項(のの発達及び を全 児の過程 の支援を必要とする幼児、児童 生徒に対義及び編成の方法(カカラを会す。) とはできるがより、児童 とはできるが関係であるが、といるでは、のからでは、できないでは、できないである。) とはに対するといるのでは、ののでは、できないできないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないできないできないできないできないできないできないできないできないできない	 社会 算数教育法 理科 生活 生活科教育法 初等理科教育法 図画工作 図画工作 図画工作教育法 初等家庭科教育法 内等体育教育法 小学校英語教育法 小学校英語教育法 小学校英語教育法 小学校英語教育法 小学校英語教育法 計の理念並びに教育に関する歴史 思想 の意義及び教員の役割・職務内チーム学校運営運営への対応を。。) に関する社会的,制度的又は経事項(学校と地域との連携及び会全への対応を含む。) 児童及び生徒の心身の発達及習の過程 の当程を必要とする幼児,児童程を心理学育年心理学の支援を必要とする幼児,児童程をはに対する理解理程の意義及び編成の方法(カコラム・マネジメントを含む。) の学校教育課程論 の学校教育課程論 の学校教育課程論 の学校教育課程論 の学校教育課程論 の学校教育課程論 の学校教育課程論 の学校教育課程論 の学校教育講話 の首徳教育論 のが指導法 の総合的な学習の時間の指導法 の総合的な学習の時間の指導法 の総合的な学習の時間の指導法 の場別活動論 の教育の方法と技術(情報通信技術を活用した教育の理論 	社会 初等社会教育法 2 算数 算数教育法 2 理科 初等理科教育法 2 生活 生活科教育法 2 音楽 初等音楽科教育法 2 図画工作 図画工作教育法 2 家庭 初等体育教育法 2 体育 初等体育教育法 2 外国語 少教育原論 2 の理念並びに教育に関する歴史 思想 の意義及び教員の役割・職務内チーム学校運営運営への対応を 。) ②教育原論 2 に関する社会的、制度的又は経 事項(学校と地域との連携及び 安全への対応を含む。) ②教育経営学学校教育経営学学校教育経営学学校教育経営学学校教育経営学学を 学校教育の過程 2 四過程 ②学校教育心理学 2 2 の過程 ②等校教育課程論 2 の支援を必要とする幼児、児童生徒に対する理解 	社会 初等社会教育法 2 算数 算数教育法 2 理 科 初等理科教育法 2 生活 生活科教育法 2 家庭 初等家庭科教育法 2 公庫工作 図画工作教育法 2 家庭 初等家庭科教育法 2 外国語 少校英語教育法 2 の理念並びに教育に関する歴史 思想 ②教育原論 2 の意義及び教員の役割・職務内チーム学校運営運営への対応を。) ②教育経営学学学校防災論 2 に関する社会的、制度的又は経事項(学校と地域との連携及び安全への対応を含む。) ②教育経営学学校防災論 2 児童及び生徒の心身の発達及受験教育経営学学校教育企理学児童心理学児童心理学児童心理学児童心理学児童心理学児童心理学児童心理学 2 習の過程 ②学校教育基礎論 2 型を接を必要とする幼児、児童生徒に対する理解と変しているの方法(カニラム・マネジメントを含む。) ②学校教育課程論 2 の理論及び指導法 ②道徳教育論 2 の業合的な学習の時間の指導法 ②総合的な学習の時間の指導法 1 のおよと技術(情報過ぎ法) の教育の方法と技術(情報過信技術を活用した教育の方法と技術(情報過信技術を活用した教育の理論通信技術を活用した教育の理論通信技術を活用した教育の方法と技術(情報過信技術を活用した教育の理論通信技術を活用した教育の理論	社会 初等社会教育法 2 算数 算数教育法 2 理科 初等理科教育法 2 生活 生活科教育法 2 音樂 初等音樂科教育法 2 図画工作 図画工作教育法 2 家庭 初等な庭科教育法 2 外国語 小学校英語教育法 2 かの事業を受けるがに教育に関する歴史 ②教育原論 2 の意義及び教員の役割・職務内チーム学校連営運営への対応を ②教育社会学 2 の意義及び教員の役割・職務内チーム学校連営運営への対応を ②教育社会学 2 に関する社会的、制度的又は経 ②教育社会学 2 ご関する社会的、制度的又は経 ②教育社会学 2 上間、学校と地域との連携及び受験が変に関する歴史 2 10 企業の対応を含む。) の学校教育に理学 2 財産企業とする幼児、児童生徒に対する理解 ②特別支援教育基礎論 2 理経の意義及び編成の方法(カーラム・マネジメントを含む。) の学校教育課程論 2 の理論及び指導法 の総合的な学習の時間の指導法 0 のおよと技術(情報 のおよと技術(情報 通信技術を活用した教育の理論 1 0 の方法及び技術 の教育の方法と技術(情報 通信技術を活用した教育 2	

	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及 び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎 的な知識を含む。)の理論及び方法	◎生徒指導・進路指導論◎学校教育相談学	2			
関教 す育	教育実習	◎教育実習(小)◎教育実践演習(小)	5 1	5	5	
関する科目	教職実践演習	◎保育・教職実践演習(幼・小・中・高)	2	2	2	
	計			2 7	1 9	
大学が独自に設定する科目		人権教育 初等授業研究 教育実践プレ演習 生涯学習概論 教職研究 I 教職研究 I 総合的学習論 生活科授業研究 授業実践論 介護実践演習 学級経営論 学校インターンシップ I A 学校インターンシップ I B 学校インターンシップ II B 学校インターンシップ II B 学校インターンシップ II B	2 2 1 2 2 2 2 2 2 1 2 1 1 1 2 2	2	2	「大学が独自に設定する 科目」の選択科目のほか, 「教科及び教科の指導法 に関する科目」,「教育の 基礎的理解に関する科目」 又は「道徳,総合的な学習 の時間等の指導法及び生 徒指導,教育相談等に関す る科目」について,免許所 要単位を超えて修得した 単位を含める。
	合	計		5 9	3 7	

[・] ②は必修科目。 〇はどちらか一つを選択必修。

[・]各区分内(線で区切られた部分)は、必ず1科目以上修得すること。

			園」の免許を取得する場合 : 教育職員免許法施行規則			対昭楽)				
		(4) (1) (1) (1) (1)	授業科目及び単位			要単位				
	免	許 科 目	授業科目	単位	1種	2種	備考			
		健康	◎幼児と健康	1						
	専門的事項領域に関する	人間関係	◎幼児と人間関係	1						
		環境	◎幼児と環境	1						
領域		言葉	◎幼児と言葉	1						
及び保	^ る 	表現	◎幼児音楽 ◎幼児図画工作	1 1						
領域及び保育内容の指導法に関する科目		育内容の指導法に関する科目にお 事項を合わせた内容に係る科目	◎保育内容総論	1						
の指	<u>(</u> ±	◎保育内容の指導法(類	環境)	2	1 6	1 2				
導	報保	◎保育内容の指導法(♪	人間関係)	2						
に問	器育及び内	◎保育内容の指導法(言葉)	2						
対すっ	う 教 材 の	◎保育内容の指導法(億	建康)	2						
る科	の活道	◎保育内容の指導法(対	幼児音楽)	2						
	(情報機器及び教材の活用を含む)保育内容の指導法	◎保育内容の指導法(幼児造形)	2						
		◎保育内容の指導法(身体表現)	2						
	計				1 6	1 2				
	教育の理念及び思想	念並びに教育に関する歴史	◎教育原論	2						
教育の基礎的理解に関	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		◎教職概論	2						
礎的		する社会的、制度的又は経	○教育社会学	2						
理解	営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		○教育経営学 学校防災論	2 2	1 0	6				
に見	幼児、児童及び生徒の心身の発達及		◎学校教育心理学	2						
す	び学習のi		児童心理学	2	_					
る科目	及び生徒に	爰を必要とする幼児, 児童 こ対する理解	◎特別支援教育基礎論	2						
\.\.\.		の意義及び編成の方法(カム・マネジメントを含む。)	◎保育·幼児教育課程論	2						
生徒指導, 総合的な		法及び技術(情報機器及び 用を含む。)	◎教育の方法と技術(情報 通信技術を活用した教育 の理論及び方法を含む。)	2						
教育相談等に関する科目な学習の時間等の指導法な	幼児理解の	の理論及び方法	◎乳幼児理解の理論・方法	2	4	4				
に指導,教育相談等に関する科目総合的な学習の時間等の指導法及び		(カウンセリングに関する基礎 含む。) の理論及び方法	◎学校教育相談学	2						
教育実践に関	教育実習		◎教育実習(幼) ◎教育実践演習(幼)	4 1	5	5				
科践 目に 関	教職実践	演習	◎保育・教職実践演習(幼・小・中・高)	2	2	2				
		計			2 1	1 7				

	人権教育	2			「大学が独自に設定す
	教育実践プレ演習	1			る科目」の選択科目の
	生涯学習概論	2	1 4		ほか,「領域及び保育内
	教職研究 I	2			容の指導法に関する科
	教職研究Ⅱ	2		2	目」,「教育の基礎的理
	総合的学習論	2			解に関する科目」又は
大学が独自に設定する科目	生活科授業研究	2			「道徳,総合的な学習
	授業実践論	2			の時間等の指導法及び
	介護実践演習	1			生徒指導,教育相談等
	学校インターンシップIA	1			に関する科目」につい
	学校インターンシップⅠB	1			て,免許所要単位を超
	学校インターンシップⅡA	1			えて修得した単位を含
	学校インターンシップⅡB	2			める。
合 計		5 1	3 1		

^{・◎}は必修科目。○はどちらか一つを選択必修。

	_	免許を取得する場合の教職				
	(教育学部専門科目	と教育職員免許法施行規則	に掲げる			長 <i>)</i> Г
	免 許 科 目	授業科目及び単位 授業科目	単位	1種	要単位 2種	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項 各教科の指導法(情報通信技術 の活用を含む。)	①〜⑩の各教科別専門表 目表を参照	数 育科	28	1 2	
	教育の理念並びに教育に関する歴史 及び思想	◎教育原論	2			
教育の芸	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	◎教職概論	2			
の基礎的	教育に関する社会的、制度的又は経	○教育社会学	2			
的理	営的事項(学校と地域との連携及び 学校安全への対応を含む。)	○教育経営学	2			
理解に関する科		学校防災論	2	1 0	6	
に関	幼児、児童及び生徒の心身の発達及 び学習の過程	◎学校教育心理学 児童心理学	2 2			
する	0 于自 2 過程	青年心理学	2			
科目	特別の支援を必要とする幼児, 児童 及び生徒に対する理解	◎特別支援教育基礎論	2			
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	◎学校教育課程論	2			
	道徳の理論及び指導法	◎道徳教育論	2			
道德,	総合的な学習の時間の指導法	◎総合的な学習の時間の指導法	1			
生徒指導, 道徳,総合的な	特別活動の指導法	◎特別活動論	1			
教学習	教育の方法及び技術	◎教育の方法と技術(情報				
相談等に1の時間は	情報通信技術を活用した教育の理論 及び方法	通信技術を活用した教育 の理論及び方法を含む)	2	1 0	6	
教育相談等に関する科目な学習の時間等の指導法及び	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及 び方法	◎生徒指導・進路指導論	2			
び	教育相談(カウンセリングに関する基礎 的な知識を含む。) の理論及び方法	◎学校教育相談学	2			
関教育会	教育実習	◎教育実習(中等) ◎教育実践演習(中等)	4	5	5	
関する科目	教職実践演習	◎保育・教職実践演習(幼・小・中・高)	2	2	2	
	計	(が 4, 1, 1日)		2 7	1 9	
大学	大学が独自に設定する科目 ①~⑩の各教科別専門教育科			4	4	
	合	計		5 9	3 7	
				l		l .

- ・◎は必修科目。○はどちらか一つを選択必修。
- ・各区分内(一線, …線で区切られた部分)は,必ず1科目以上修得すること。

①中学校免許教科「国語」を取得する場合の教科に関する専門教育科目

A) II	IFΛ	なかが口	授業科目及び単位		免許所	要単位	備考
科日	区分	免許科目	1文未行 日次 0 平位		1種	2種	VIII
施行規則に関	教科に関する	国語学(音声言語及び文章表現 に関するものを含む。)	◎日本語学基礎論 I ◎日本語学基礎論 II 日本語学基礎演習 日本語方言学	2 2 1 2			
に掲げる教科及び教科の指導法に関する科目	る専門的事項	門 的 事	◎日本古典文学史 ◎日本古典文学蒙 ○日本古典文学講読 I 日本古典文学講読 I 日本古典文学演習 I 日本近代文学演習 I 日本近代文学演習 I 日本古典文学演習 I 日本近代文学講義 日本古典文学講義	2 2 1 1 1 1 2 2	20	1 0	
		漢文学 書道(書写を中心とする。)	○中国文学史○中国古典学講読 I○中国古典学講読 II中国古典学演習 I中国古典学演習 II日本漢文学史書道 I A 又は書道 I B	2 1 1 1 1 2			
	教科及び教科の指導法に関する科目におけ る複数の事項を合わせた内容に係る科目		書道ⅡA又は書道ⅡB 国語科内容構成	2			
	各教科の指導法(情報通信技術の活 用を含む。)		②国語科教育法 ②国語科教育論 ②国語科授業研究 I ②国語科授業研究 II	2 2 2 2	8	2	

- ・ ②は必修科目 (1種は全て, 2種は各区分1つ以上)
- ・「教科に関する専門的事項」の各区分内は、必ず1科目以上修得すること。

科目区分	授業科目及び単位		免許所要単位	
村日区万			2種	備考
大学が独自	人権教育 2 教育実践プレ演習 1 生涯学習概論 2 教職研究 I 2			
に設定する 科目	総合的学習論2 授業実践論2 教職研究Ⅱ2 介護実践演習1	4	4	
	学校インターンシップ I A 1 学校インターンシップ I B 1 学校インターンシップ II A 1	1	1	
	学校インターンシップIIB 2 日本語史 2 学級経営論 2			

[・]最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」,「教育の基礎的理解に関する科目」 又は「道徳,総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導,教育相談等に関する科目」を含む。

②中学校免許教科「社会」を取得する場合の教科に関する専門教育科目

		五 計到 口	松米切口口√%以		免許所	要単位	備考
		免許科目	授業科目及び単位		1種	2種	加 有
施行規則に掲げる教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史及び外国史 地理学(地誌を含む。) 「法律学,政治学」 「社会学,経済学」 「哲学,倫理学,宗教学」	①① ○ 日 古西西 ○ ○ 地地理際法政律治社社経済哲哲倫理と史史と会学学地地学実実会学学工工学学学理学と会済学学理理 習習論 I I I I I I I I I I I I I I I I I I	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 0	1 0	教専単は教一っと物門位「の上行るの人」うにう。
		び教科の指導法に関する科目におけ の事項を合わせた内容に係る科目	社会科内容構成	2			
		科の指導法(情報通信技術の活 含む。)	②社会科教育法 ②社会科教育論 ②社会科授業研究 I ②社会科授業研究 II	2 2 2 2	8	2	

- ・◎は必修科目(1種は全て、2種は各区分1つ以上)
- ・丸数字は、同じ丸数字の内で1科目以上選択必修(1種及び2種)
- ・「教科に関する専門的事項」の各区分内は必ず1科目以上修得すること。

科目区分	授業科目及び単位		要単位	備考	
村 日 色 刀			2種		
大学が独自 に設定する 科目	人権教育 2 教育実践プレ演習 1 生涯学習概論 2 教職研究 I 2 総合的学習論 2 授業実践論 2 教職研究 II 2 介護実践演習 1 学校インターンシップ I A 1 学校インターンシップ I B 1 学校インターンシップ II A 1 学校インターンシップ II B 2 社会科特別演習 2 学級経営論 2	4	4		

[・]最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」, 「教育の基礎的理解に関する科目」 又は「道徳,総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導,教育相談等に関する科目」を含む。

③中学校免許教科「数学」を取得する場合の教科に関する専門教育科目

4N D	ΕΛ	소금r의 ㅁ	松松灯口口~~~		免許所	要単位	/#: - #.
科日	区分	免許科目 	授業科目及び単位		1種	2種	備考
施行規則に掲げる教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	代数学	◎代数学 I◎代数学 II代数学 III代数学 IV	2 2 2 2		1 0	
		幾何学	◎幾何学 I◎幾何学 II幾何学III幾何学IV	2 2 2 2	2 0		
教科の指導法		解析学	◎解析学 I◎解析学 II解析学III解析学IV	2 2 2 2			
に関する		「確率論,統計学」	◎確率・統計	2			
科目		コンピュータ	◎計算機基礎	2			
	教科及び教科の指導法に関する科目におけ る複数の事項を合わせた内容に係る科目		数学科内容構成	2			
		科の指導法(情報通信技術の活 含む。)	◎数学科教育法 ◎数学科教育論 ◎数学科授業研究 I ◎数学科授業研究 II	2 2 2 2	8	2	

- ・◎は必修科目(1種は全て、2種は各区分1つ以上)
- ・「教科に関する専門的事項」の各区分内は必ず1科目以上修得すること。

科目区分	授業科目及び単位	免許所要単位		備考	
村百区为	汉未行百及() 辛也		2種		
大学が独自 に設定する 科目	人権教育 2 教育実践プレ演習 1 生涯学習概論 2 教職研究 I 2 総合的学習論 2 授業実践論 2 教職研究 II 2 介護実践演習 1 学校インターンシップ I A 1 学校インターンシップ I B 1 学校インターンシップ II A 1 学校インターンシップ II B 2 数学入門 2 数学緒論 A 2 数学緒論 B 2 数学実践研究 2 学級経営論 2	4	4		

[・]最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」, 「教育の基礎的理解に関する科目」 又は「道徳,総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導,教育相談等に関する科目」を含む。

④中学校免許教科「理科」を取得する場合の教科に関する専門教育科目

11 11		クニケイリロ	运业(1 日 日 4 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11		免許所	要単位	/++: +x.
科目	区分	免許科目	授業科目及び単位	•	1種	2種	備考
施行規則に掲げる教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。) 化学 化学実験(コンピュータ活用を含む。) 生物学 生物学実験(コンピュータ活用を含む。) 地学	 ◎物理学 I ◎物理学 II ◎物理学 II ◎基礎等期間 ◎本理学概論 I ②化学 I ②生物学 I ②生物学 I ②生物学 I 生物学 I 生物学 医基礎学 表 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	20	10	
	教科及	び教科の指導法に関する科目における複	理科内容構成	2			
	数の事	項を合わせた内容に係る科目					
	各教	科の指導法(情報通信技術の活用	◎理科教育法	2			
	を含	t.)	◎理科教育論	2			
			◎理科授業研究 I	2	8	2	
			◎理科授業研究Ⅱ	2			
			理科教材研究	2			

- ・◎は必修科目(1種は全て、2種は各区分1つ以上)
- ・「教科に関する専門的事項」の各区分内は必ず1科目以上修得すること。

科目区分	授業科目及び単位		免許所要単位	
村 日 色 万			2種	備考
大学が独自 に設定する 科目	人権教育 2 教育実践プレ演習 1 生涯学習概論 2 教職研究 I 2 総合的学習論 2 授業実践論 2 教職研究 II 2 介護実践演習 1 学校インターンシップ I A 1 学校インターンシップ I B 1 学校インターンシップ II A 1 学校インターンシップ II B 2 理科教育学 II 2 理科教育学 II 2 自然科学論 2 学級経営論 2	4	4	

[・]最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」, 「教育の基礎的理解に関する科目」 又は「道徳,総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導,教育相談等に関する科目」を含む。

⑤中学校免許教科「音楽」を取得する場合の教科に関する専門教育科目

ΔI П	ΕΛ	쇼카이 ㅁ	检查的 白丑 4%况 压		免許所	要単位	/±±:	考
科目	区分	免許科目	授業科目及び単位		1種	2種	備	有
施行規則に掲げる教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	ブルフェージュ 声楽(合唱及び日本の伝統的な 歌唱を含む。) 器楽(合奏及び伴奏並びに和楽 器を含む。) 指揮法 音楽理論,作曲法(編曲法を 含む。)及び音楽史(日本の伝 統音楽及び諸民族の音楽を 含む。)	声楽発展研究A・B ◎器楽奏法基礎A・B ◎合奏表現法 管楽器奏法基礎A・B ピアノIA・IB ピアノIIA・IIB ピアノIIA・IIB 管楽器IA・IB 管楽器IIA・IIB 「管楽器IIA・IIB	2 各1 各1 各1 各1 各1 各1 各1 各1	2 0	1 0		
	教科及び教科の指導法に関する科目におけ る複数の事項を合わせた内容に係る科目		音楽科内容構成	2				
		科の指導法(情報通信技術の を含む。)	○音楽科教育法○音楽科教育論○音楽科授業研究 I○音楽科授業研究 II	2 2 2 2	8	2		

- ・◎は必修科目(1種は全て、2種は各区分1つ以上)
- ・「声楽」「器楽」の区分は、必修科目を含め4単位選択必修(1種)。
- ・「教科に関する専門的事項」の各区分内は必ず1科目以上修得すること。

科目区分	授業科目及び単位		免許所要単位	
科自区为			2種	備考
大学が独自 に設定する 科目	人権教育 2 教育実践プレ演習 1 生涯学習概論 2 教職研究 I 2 総合的学習論 2 授業実践論 2 教職研究 II 2 介護実践演習 1 学校心ターンシップ IA 1 学校心ターンシップ IB 1 学校心ターンシップ IIA 1 学校心ターンシップ IIB 2 音楽教育研究 2 学級経営論 2	4	4	

[・]最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」, 「教育の基礎的理解に関する科目」 又は「道徳,総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導,教育相談等に関する科目」を含む。

⑥中学校免許教科「美術」を取得する場合の教科に関する専門教育科目

4V 🗆		在計 利日	極業利日丑48份件		免許所	要単位	/# #×
科日	区分	免許科目	授業科目及び単位	-	1種	2種	備考
施行規則に掲げる教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	絵画 (映像メディア表現を含む。)彫刻デザイン (映像メディア表現を含む。)	 ◎造形基礎 ◎絵画 I A・ I B 絵画 II A・ II B ◎彫刻 I 彫刻 I ◎構成 I A・ I B 構成 II A・ II B デザイン II A・ II B デザイン II A・ II B 立体表現基礎演習 A 	各1 2 2 2 各1 各1	2 0	1 0	
		工芸 美術理論及び美術史(鑑賞並 びに日本の伝統美術及びアジ アの美術を含む。)	◎立体表現演習 I A・I B立体表現演習 II A・II B◎美術理論◎美術史	各1 各1 2 2			
		び教科の指導法に関する科目における の事項を合わせた内容に係る科目	美術科内容構成	2			
		科の指導法(情報通信技術の活 含む。)	◎美術科教育法 ◎美術科教育論 ◎美術科授業研究 I ◎美術科授業研究 II	2 2 2 2	8	2	

- ・◎は必修科目(1種は全て,2種は各区分1つ以上)
- ・「教科に関する専門的事項」の各区分内は必ず1科目以上修得すること。

科目区分	授業科目及び単位		免許所要単位	
			2種	備考
大学が独自 に設定する 科目	人権教育 2 教育実践プレ演習 1 生涯学習概論 2 教職研究 I 2 総合的学習論 2 授業実践論 2 教職研究 II 2 介護実践演習 1 学校インターンシップ I A 1 学校インターンシップ I B 1 学校インターンシップ II A 1 学校インターンシップ II B 2 美術教育演習 2 学級経営論 2	4	4	

[・]最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」,「教育の基礎的理解に関する科目」 又は「道徳,総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導,教育相談等に関する科目」を含む。

⑦ 中学校免許教科「保健体育」を取得する場合の教科に関する専門教育科目

₹ \ □	E A	7 = h-1 I			免許所	要単位	/+tt-r
科目	区分	免許科目	授業科目及び単位		1種	2種	備考
施行規則に掲げる教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	体育実技 「体育原理,体育心理学,体育経営管理学,体育社会学」及び運動学(運動方法学等を含む。) 生理学(運動生理学を含む。) 集学及び公衆衛生学学校保健(小児保健,精神保健,学校安全及び救急処置を含む。)	 ◎基本及I ◎基本及I ◎球球技道I ○野外基体技AII 市域技道I 市域技道I 市域技道I 市域共在区域 市域大学 運動大学 運動生生 運動生生 企業 ②学で ②学で ②学で ②学で ②学で ②学の ②学の 	1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 0	1 0	教る項修内うに行す科専の得のちわうる。関的位「科以っの関的位「科以っのリカーのよっと
		なび教科の指導法に関する科目におけなの事項を合わせた内容に係る科目	保健体育科内容構成	2			
	各教	科の指導法(情報通信技術の を含む。)	○保健体育科教育法○保健体育科教育論○保健体育科授業研究○保健体育科授業研究Ⅱ	2 2 2 2	8	2	

- ・◎は必修科目(1種は全て、2種は各区分1つ以上)
- ・1種は①の科目の内6単位選択必修、2種は①の科目の内2単位選択必修。
- ・「教科に関する専門的事項」の各区分内は必ず1科目以上修得すること。

科目区分	授業科目及び単位		免許所要単位	
			2種	備考
大学が独自 に設定する 科目	人権教育 2 教育実践プレ演習 1 生涯学習概論 2 教職研究 I 2 総合的学習論 2 授業実践論 2 教職研究 II 2 介護実践演習 1 学校インターンシップ I A 1 学校インターンシップ I B 1 学校インターンシップ II A 1 学校インターンシップ II B 2 学級経営論 2	4	4	

[・]最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」,「教育の基礎的理解に関する科目」 又は「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」を含む。

⑧中学校免許教科「技術」を取得する場合の教科に関する専門教育科目

4) D	1日八	△ 計幻□	授業科目及び単位		免許所	要単位	備者	tz.
件日	区分	免許科目 授業科目及び単位			1種	2種	1/用 ≁	5
施行	教	木材加工 (製図及び実習を含む。)	◎木材加工法 I	2				
行 規	科に		◎木材加工法Ⅱ	2				
削に	関す	金属加工(製図及び実習を含む。)	◎金属加工	2				
掲	する	機械(実習を含む。)	◎機械工学 I	2				
則に掲げる教科及び教科	うる専門:		◎機械工学Ⅱ	2				
		電気(実習を含む。)	◎電気工学 I	2				
	項		◎電気工学Ⅱ	2	2 0	1 0		
び 教		栽培(実習を含む。)	◎栽培学	2				
指		情報とコンピュータ	◎情報基礎 I	2				
導法		(実習を含む。)	◎情報基礎Ⅱ	2				
にに			計算機システム	2				
の指導法に関する科			ソフトウエア工学演習	2				
る 科	教科及	び教科の指導法に関する科目における	技術科内容構成	2				
目	複数の	事項を合わせた内容に係る科目						
	各教	科の指導法(情報通信技術の活用	◎技術科教育法	2			_	
	を含	t.)	◎技術科教育論	2	_			
			◎技術科授業研究 I	2	8	2		
			◎技術科授業研究Ⅱ	2				

- ・◎は必修科目(1種は全て、2種は各区分1つ以上)
- ・「教科に関する専門的事項」の各区分内は必ず1科目以上修得すること。

科目区分	授業科目及び単位		免許所要単位	
			2種	備考
大学が独自 に設定する 科目	人権教育 2 教育実践プレ演習 1 生涯学習概論 2 教職研究 I 2 総合的学習論 2 授業実践論 2 教職研究 II 2 介護実践演習 1 学校インターンシップ I A 1 学校インターンシップ I B 1 学校インターンシップ II A 1 学校インターンシップ II B 2 学級経営論 2	4	4	

[・]最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」, 「教育の基礎的理解に関する科目」 又は「道徳,総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導,教育相談等に関する科目」を含む。

⑨中学校免許教科「家庭」を取得する場合の教科に関する専門教育科目

	- n	6 360 B			免許所	要単位	1444	ســـــــــــــــــــــــــــــــــــــ
科目	区分	免 許科目	授業科目及び単位	授業科目及び単位		2種	備	考
施行担	教科に	家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。)	◎家庭経営学 ◎家族関係学	2 2				
施行規則に掲げる教科及び教科	に関する専門	被服学(被服製作実習を含む。)	◎被服学 I被服学 II◎被服学実習	2 2 1				
	的事項	食物学(栄養学,食品学及び調理 実習を含む。)	◎食物学 I食物学 II◎調理学実習 I調理学実習 II	2 2 1 1	2 0	10		
の指導法に関する科目		住居学	◎住居学 I 住居学 II	2 2				
に関する		保育学(実習を含む。)	◎保育学 I 保育学 II	2 2				
科 目		び教科の指導法に関する科目における	家庭科内容構成	2				
	各教を含む	科の指導法(情報通信技術の活用む。)	◎家庭科教育法 ◎家庭科教育論 ◎家庭科授業研究 I ◎家庭科授業研究 II	2 2 2 2	8	2		

- ・◎は必修科目(1種は全て、2種は各区分1つ以上)
- ・「教科に関する専門的事項」の各区分内は必ず1科目以上修得すること。

科目区分	授業科目及び単位		要単位	備考
村 日 色 力			2種	加 45
大学が独自 に設定する 科目	人権教育 2 教育実践プレ演習 1 生涯学習概論 2 教職研究 I 2 総合的学習論 2 授業実践論 2 教職研究 II 2 介護実践演習 1 学校心タージップ IA 1 学校心タージップ IB 1 学校心タージップ IIA 1 学校心タージップ IIB 2 家庭電気・機械 2 生活情報処理 2 家庭科教育演習 2 学級経営論 2	4	4	

[・]最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」, 「教育の基礎的理解に関する科目」 又は「道徳,総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導,教育相談等に関する科目」を含む。

⑩中学校免許教科「英語」を取得する場合の教科に関する専門教育科目

科目	区分	免許科目	授業科目及び単位		7 - 11 / 77 1	要単位	備考
711		JUNTAT II	及来打古及び中国		1種	2種	νт 3
施行規則に掲げる教科及び教科の指	教科に関する専門	英語学	◎英語音声学演習◎英文法演習英語史◎英語学概論英語学演習	1 1 2 2 2			
	的事項	英語文学	○英語圏文学概論○英語圏文学演習	2 2	2 0	1 0	
	英	英語コミュニケーション		2 各 1 各 1			
の指導法に関する科目		異文化理解	異文化理解 異文化間コミュニケー ション論	2			
 科 目		なび教科の指導法に関する科目における 事項を合わせた内容に係る科目	英語科内容構成	2			
		科の指導法(情報通信技術の活 含む。)	○英語科教育法○英語科教育論○英語科授業研究 I○英語科授業研究 II	2 2 2 2	8	2	

- ・◎は必修科目(1種は全て、2種は各区分1つ以上)
- ・「教科に関する専門的事項」の各区分内は必ず1科目以上修得すること。

科目区分	授業科目及び単位		免許所要単位	
村 目 色 方			2種	備考
大学が独自 に設定する 科目	人権教育 2 教育実践プレ演習 1 生涯学習概論 2 教職研究 I 2 総合的学習論 2 授業実践論 2 教職研究 II 2 介護実践演習 1 学校インターンシップ I A 1 学校インターンシップ I B 1 学校インターンシップ II A 1 学校インターンシップ II B 2 学級経営論 2	4	4	

[・]最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」, 「教育の基礎的理解に関する科目」 又は「道徳,総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導,教育相談等に関する科目」を含む。

(教育字部専門科目と教		ロボッチ	ロルの地の事)		
1	育職員免許法施行規則に	掲ける科			
免 許 科 目	授業科目及び単位授業科目	単位	免許所要単位 1 種	備考	
教 科 及 び 教 科			* 1-4-		
等法 各教科の指導法(情報通信技術 を の活用を含む。) の活用を含む。)	〜⑫の各教科別専門教育 参照	2 4			
及び思想	教育原論	2			
	教職概論	2			
	教育社会学	2			
前 営的事項(学校と地域との連携及び ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	教育経営学	2			
理学校安全への対応を含む。) 学科	校防災論	2	1 0		
に 幼児、児童及び生徒の心身の発達及 ◎ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	学校教育心理学	2			
	童心理学 年心理学	2 2			
科 目 特別の支援を必要とする幼児,児童 及び生徒に対する理解 ◎4	特別支援教育基礎論	2			
教育課程の意義及び編成の方法(カ リキュラム・マネジメントを含む。)	学校教育課程論	2			
lia)	総合的な学習の時間の 導法	1			
道生徳、特別活動の指導法 ②4 特別活動の指導法 ③4 教育の方法及び技術 数音の方法及び技術	特別活動論	1			
導売の 教育の方法及び技術 ◎ 教育の方法及び技術 ◎ オート	教育の方法と技術(情報通 技術を活用した教育の理 及び方法を含む。)	2	8		
教育学 情報通信技術を活用した教育の理論 信担 及び方法	生徒指導・進路指導論	2			
科芸 と 教育相談(カウンセリングに関する基礎 がか知識を含む。)の理論及び方法 ◎☆	学校教育相談学	2			
関教 教育実習 ② ② ② ② ② ③ ② ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ⑥ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	教育実習(中等) 教育実践演習(中等)	4	3		
自泛	保育・教職実践演習幼・小・中・高)	2	2		
計					
大学が独自に設定する科目	~⑫の各教科別専門教育 参照	科目表	1 2		
合 訁			5 9		

- ・◎は必修科目。○はどちらか一つを選択必修。
- ・各区分内(一線, …線で区切られた部分)は、必ず1科目以上修得すること。

①高等学校免許教科「国語」を取得する場合の教科に関する専門教育科目

1 1	F //	クニケイリロ	拉米4/ D T 2021年		免許所要単位	/++: +x.
科目	区分	免許科目	授業科目及び単位		1種	備考
施	教	国語学(音声言語及び文章表現に	◎日本語学基礎論 I	2		
行担	科に	科 関するものを含む。)	◎日本語学基礎論Ⅱ	2		
規則	関		日本語学基礎演習	1		
に	する		日本語方言学	2		
掲げる教科及び教科の指導法に関する科目	専	国文学(国文学史を含む。)	◎日本古典文学史	2		
る	門的		◎日本近代文学史	2		
科	事		日本古典文学講読 I	1		
及 び	項		日本古典文学講読Ⅱ	1		
教			日本古典文学演習	1		
枠 の			日本近代文学演習 I	1		
指			日本近代文学演習Ⅱ	1		
導 法			日本古典文学講義	2		
に			日本近代文学講義	2	2 4	
関 す		漢文学	◎中国文学史	2	2 1	
3			◎中国古典学講読 I	1		
朴 目			◎中国古典学講読Ⅱ	1		
			中国古典学演習 I	1		
			中国古典学演習Ⅱ	1		
			日本漢文学史	2		
	教科及	び教科の指導法に関する科目における	国語科内容構成	2		
	複数の)事項を合わせた内容に係る科目				
	夕址	到の投資法(桂却区長世継の活	○ □ 割料本件	0		
		科の指導法(情報通信技術の活	◎国語科教育法	2		
	用で	含む。)	国語科教育論	2		
			◎国語科授業研究 I	2		
			国語科授業研究Ⅱ	2		

- ・◎は必修科目。
- ・「教科に関する専門的事項」の各区分内は必ず1科目以上修得すること。

科目区分	授業科目及び単位	免許所要単位	備考
	技条行口及び年世	1種	7/H 1/5
大学が独自 に設定する 科目	人権教育 2 教育実践プレ演習 1 生涯学習概論 2 教職研究 I 2 総合的学習論 2 授業実践論 2 教職研究 II 2 介護実践演習 1 学校インターンシップ I A 1 学校インターンシップ I B 1 学校インターンシップ II A 1 学校インターンシップ II B 2 日本語史 2 学級経営論 2	1 2	

[・]最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」, 「教育の基礎的理解に関する科目」 又は「道徳,総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導,教育相談等に関する科目」を含む。

②高等学校免許教科「書道」を取得する場合の教科に関する専門教育科目

科目	区分	免許科目	授業科目及び単位		免許所要単位 1種	備考
施行規	教 科	教 書道(書写を含む。)	①書道IA	2		教科に関す る専門的事
	に		①書道IB	2		項の単位の
則	関す		②書道 II A	2		修得は、
掲	うる		②書道 I B	2		「」内の
げっ	〜る専門:		書道Ⅲ	1		教 科 の うち, 一以上
製	的	的	書道IV	1		ら, めエ にわたって
科科	事	書道史	◎書道史	2		行うものと
人び	項	「書論,鑑賞」	◎書論	2		する。
則に掲げる教科及び教科			◎書鑑賞論	2		
件 の		「国文学,漢文学」	◎日本古典文学史	2		
指道			◎日本近代文学史	2	2 4	
の指導法に関する科目			◎中国文学史	2		
に見			日本古典文学講読 I	1		
声す			日本古典文学講読Ⅱ	1		
る			中国古典学講読I	1		
目			中国古典学講読Ⅱ	1		
	各教	科の指導法(情報通信技術の活	◎書道科教育法	2	1	
	用を	含む。)	◎書道科授業研究	2		

- ・◎は必修科目。
- ・丸数字は、同じ丸数字の内で1科目以上選択必修(1種及び2種)
- ・各区分内は必ず1科目以上修得すること。

科目区分	授業科目及び単位	免許所要単位	備考
	投耒村日及び単位	1種	1佣 石
大学が独自 に設定する 科目	人権教育 2 教育実践プレ演習 1 生涯学習概論 2 教職研究 I 2 総合的学習論 2 授業実践論 2 教職研究 II 2 介護実践演習 1 学校インターンシップ I A 1 学校インターンシップ I B 1 学校インターンシップ II A 1 学校インターンシップ II B 2 日本語史 2 学級経営論 2	1 2	

[・]最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」, 「教育の基礎的理解に関する科目」 又は「道徳,総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導,教育相談等に関する科目」を含む。

③高等学校免許教科「地理歴史」を取得する場合の教科に関する専門教育科目

科目	区分	免許科目	授業科目及び単位		免許所要単位 1種	備	考
施行規則に掲げる教科及び教科の指導法に関する	教科に関する専門的事項	日本史 外国史 人文地理学 及び自然地理学 地誌	 ①日本史学Ⅰ ①日本史学Ⅲ 日本社会史論 古文書学學 ◎西洋史学Ⅱ 西洋史学Ⅲ ◎人自然地理学 地理学実習Ⅱ ⑩地理学実習Ⅱ ⑩地理学 地理学等 国際社会論 	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 4		
る科目	教科及び教科の指導法に関する科目における 複数の事項を合わせた内容に係る科目 各教科の指導法(情報通信技術の活 用を含む。)		社会科内容構成 ②地理歴史教育法 ③地理歴史授業研究	2 2 2			

- ・◎は必修科目。
- ・丸数字は、同じ丸数字の内で1科目以上選択必修。
- ・各区分内は必ず1科目以上修得すること。

科目区分	授業科目及び単位	免許所要単位	備考
村百色为	技条行口及び単位	1種	`V#I
大学が独自 に設定する 科目	人権教育 2 教育実践プレ演習 1 生涯学習概論 2 教職研究 I 2 総合的学習論 2 授業実践論 2 教職研究 II 2 介護実践演習 1 学校インターンシップ I A 1 学校インターンシップ I B 1 学校インターンシップ II A 1 学校インターンシップ II B 2 社会科特別演習 2 学級経営論 2	1 2	

・最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」, 「教育の基礎的理解に関する科目」 又は「道徳,総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導,教育相談等に関する科目」を含む。

④高等学校免許教科「公民」を取得する場合の教科に関する専門教育科目

科目	区分	免許科目	授業科目及び単位		免許所要単位 1種	備考
施行規則に掲げる教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	「法律学(国際法を含む。), 政治学(国際政治を含む。)」 「社会学,経済学(国際経済を含む。)」 「哲学,倫理学,宗教学,心理学」	①法律学 I 法律学 I ① 法律学 I ① 政治学 I ② 社会学 I 社会学 I ② 経済学 I ② 哲学 I ③ 哲学 I ③ 倫理学 I 倫理学 I 生命と倫理	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 4	教る項修「教ちに行す料専の得」科一たもの関的位は内の以っの事ののののののののののののののののののののののののののののののののとてと
Bする科目		び教科の指導法に関する科目における 事項を合わせた内容に係る科目	社会科内容構成	2		
		科の指導法(情報通信技術の活 含む。)	◎公民教育法◎公民授業研究	2 2		

- ・◎は必修科目。
- ・丸数字は、同じ丸数字の内で1科目以上選択必修。
- ・各区分内は必ず1科目以上修得すること。

科目区分	授業科目及び単位	免許所要単位	備考
	技条行口及び年世	1種	畑 与
大学が独自 に設定する 科目	人権教育 2 教育実践プレ演習 1 生涯学習概論 2 教職研究 I 2 総合的学習論 2 授業実践論 2 教職研究 II 2 介護実践演習 1 学校インターンシップ I A 1 学校インターンシップ I B 1 学校インターンシップ II A 1 学校インターンシップ II B 2 社会科特別演習 2 学級経営論 2	1 2	

[・]最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」, 「教育の基礎的理解に関する科目」 又は「道徳,総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導,教育相談等に関する科目」を含む。

⑤高等学校免許教科「数学」を取得する場合の教科に関する専門教育科目

科目	区分	免許科目	授業科目及び単位		免許所要単位 1種	備考
施行規則に掲げる教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	代数学 幾何学 解析学 「確率論、統計学」 コンピュータ	 ○代数学 I ○代数学 II 代数学 II 代数学 IV ○幾何学 I ○幾何学 II 幾何学 II 幾何学 II %解析学 I ○解析学 II 解析学 III 解析学 II 解析学 II 解析学 II 解析学 I ○介紹本・統計 ○計算機基礎 ○計算機基礎 	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 4	教る項修「教ちに行すが再の得」科・わうるに関的位は内の以っのも。 りょうしゅう かんしゅう おんしゅう おんしゅう おんしゅう かんしゅう はんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう はんしゅう はんしゅう かんしゅう はんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう はんしゅう かんしゅう はんしゅう かんしゅう はんしゅう かんしゅう かんしゅう はんしゅう かんしゅう かんしゅん かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゅん かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんし
	教科及び教科の指導法に関する科目における 複数の事項を合わせた内容に係る科目		数学科内容構成	2		
		科の指導法(情報通信技術の活 含む。)	◎数学科教育法 数学科教育論 ◎数学科授業研究 I 数学科授業研究 II	2 2 2 2		

- ・ ②は必修科目。
- ・「教科に関する専門的事項」の各区分内は必ず1科目以上修得すること。

科目区分	授業科目及び単位	免許所要単位	備考
村日区万	技業付日及び単位	1種	1佣 有
大学が独自 に設定する 科目	人権教育 2 教育実践プレ演習 1 生涯学習概論 2 教職研究 I 2 総合的学習論 2 授業実践論 2 教職研究 II 2 介護実践演習 1 学校 インターーンシップ I A 1 学校 インターーンシップ I B 1 学校 インターーンシップ II A 1 学校 インターーンシップ II B 2 数学入門 2 数学緒論 A 2 数学緒論 B 2 数学実践研究 2 学級経営論 2	1 2	

[・]最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」, 「教育の基礎的理解に関する科目」 又は「道徳,総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導,教育相談等に関する科目」を含む。

⑥高等学校免許教科「理科」を取得する場合の教科に関する専門教育科目

~ -	F /\	h =4001 P	5 44 A) P 7 - 2011 !!		免許所要単位	/++
科目	区分	人 免許科目 	授業科目及び単位		1種	備考
施行規則に掲げ	教科に関する	物理学	◎物理学概論 I◎物理学概論 I物理学 I物理学 II	2 2 2 2		教科に関す る専門的事 項の単位の 修 得 は , 」内の
掲げる教科及び	3専門的事項	化学	◎化学概論 I◎化学概論 II化学 I化学 II	2 2 2 2		教 科 の う ち,一以上 にわたって 行うものと する。
教科の指導法		生物学	◎生物学概論 I◎生物学概論 II生物学 I生物学 II	2 2 2 2		
る教科及び教科の指導法に関する科目		地学	◎地学概論 I◎地学概論 II地学 I地学 II	2 2 2 2	2 4	
		含む。), 化学実験(コンピュータ活用を含む。), 生物学実験(コンピュ	○基礎物理学実験 ○基礎化学実験 ○基礎生物学実験 ○基礎地学実験 物理学実験 化学実験 生物学実験 生物学実験 地学実験	1 1 1 1 2 2 2 2		
	複数の	日本のおります。日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、	理科内容構成 ②理科教育法 理科教育論 ③理科授業研究 I 理科授業研究 II	2 2 2 2 2 2		

- ・◎は必修科目。
- ・「教科に関する専門的事項」の各区分内は必ず1科目以上修得すること。

到日豆八	極業利日及が民体	免許所要単位	備考
科目区分	授業科目及び単位	1種	畑 与
大学が独自 に設定する 科目	人権教育 2 教育実践プレ演習 1 生涯学習概論 2 教職研究 I 2 総合的学習論 2 授業実践論 2 教職研究 II 2 介護実践演習 1 学校インターンシップ I A 1 学校インターンシップ I B 1 学校インターンシップ II A 1 学校インターンシップ II B 2 理科教育学 II 2 理科教育学 II 2	1 2	
	自然科学論 2 学級経営論 2		

[・]最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」,「教育の基礎的理解に関する科目」 又は「道徳,総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導,教育相談等に関する科目」を含む。

⑦高等学校免許教科「音楽」を取得する場合の教科に関する専門教育科目

科目	区分	免許科目	授業科目及び単位		免許所要単位	備考
	区 教科に関する専門的事項	免許科目 ソルフェージュ 声楽(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。) 器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	授業科目及び単位 ③ソルフェージュ ③歌唱法基礎 A・B ③合唱表現法 声楽 I A・ I B 声楽 II A・II B 声楽発展研究 A・B ③器楽奏法基礎 A・B ②器楽奏法基礎 A・B ピアノ II A・II B ピアノ III A・II B ピアノ III A・II B ピアノ III A・II B ピアノ III A・II B	2各 1名 4 1名 5 1名 6 1名 7 2名 8 1名 8 1名 8 1名 8 1	1種 2 4	/ 考
る科目	複数の 各教	指揮法 音楽理論,作曲法(編曲法を含む。)及び音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。) なび教科の指導法に関する科目におけるシ事項を合わせた内容に係る科目 科の指導法(情報通信技術の活含む。)	器楽奏法研究 I・Ⅱ ◎指揮法 ◎楽曲構成基礎論 作曲・編曲法 I 和声A・B ◎音楽史 音楽科内容構成 ◎音楽科教育法 音楽科教育論 ◎音楽科授業研究 I 音楽科授業研究 II	各1 2 2 4 2 2 2 2 2 2 2 2		

- ・◎は必修科目。
- ・「教科に関する専門的事項」の各区分内は必ず1科目以上修得すること。

科目区分	授業科目及び単位	免許所要単位	備考
村 目 色 方	1文条件日及び単位	1種	加 与
大学が独自 に設定する 科目	人権教育 2 教育実践プレ演習 1 生涯学習概論 2 教職研究 I 2 総合的学習論 2 授業実践論 2 教職研究 II 2 介護実践演習 1 学校インターンシップ I A 1 学校インターンシップ I B 1 学校インターンシップ II A 1 学校インターンシップ II B 2 音楽教育研究 2 学級経営論 2	1 2	

[・]最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」, 「教育の基礎的理解に関する科目」 又は「道徳,総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導,教育相談等に関する科目」を含む。

⑧高等学校免許教科「美術」を取得する場合の教科に関する専門教育科目

科目	区分	免許科目	授業科目及び単位		免許所要単位 1種	備考
施行規則に掲げる教科及び教科の指導法に関する科	教科に関する専門的事項	絵画(映像メディア表現を含む。) 彫刻 デザイン(映像メディア表現を含む。) 美術理論及び美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)	 ◎造形基礎 ◎絵画 I A・ I B 絵画 II A・ II B ◎彫刻 I 彫刻 II ◎構成 I A・ I B 構成 II A・ II B デザイン II A・ II B デザイン II A・ II B 立体表現基礎演習 A ◎美術理論 ◎美術史 	各1	2 4	
関する科目		とび教科の指導法に関する科目における の事項を合わせた内容に係る科目	美術科内容構成	2		
		科の指導法(情報通信技術の活 含む。)	◎美術科教育法 美術科教育論 ◎美術科授業研究 I 美術科授業研究 II	2 2 2 2		

- ・◎は必修科目。
- ・「教科に関する専門的事項」の各区分内は必ず1科目以上修得すること。

利日豆八	授業科目及び単位	免許所要単位	備考
科目区分	授耒村日及び単位	1種	1佣 石
大学が独自 に設定する 科目	人権教育 2 教育実践プレ演習 1 生涯学習概論 2 教職研究 I 2 総合的学習論 2 授業実践論 2 教職研究 II 2 介護実践演習 1 学校インターンシップ I A 1 学校インターンシップ I B 1 学校インターンシップ II A 1 学校インターンシップ II B 2 美術教育演習 2 学級経営論 2	1 2	

[・]最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」, 「教育の基礎的理解に関する科目」 又は「道徳,総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導,教育相談等に関する科目」を含む。

⑨高等学校免許教科「保健体育」を取得する場合の教科に関する専門教育科目

科目	区分	免許科目	授業科目及び単位		免許所要単位 1種	備考
施行	教科	体育実技	◎基礎運動 I ◎身体表現 I	1 1		教科に関する専門
規則	に 関		◎球技A I	1		的事項の単位の修
則に	す		◎球技B I	1		争位の 修得は,「」
掲げる教科及	る専		◎武道 I	1		内の教科
3	門		野外スポーツ	1		のうち, 一
教 科	的事		◎基礎運動Ⅱ	1		以上にわ たって行
及	項		身体表現Ⅱ	1		うものと
び教科			球技AⅡ	2		する。
科			球技ВⅡ	1		
の指導法に関す			武道Ⅱ	1		
導		「体育原理,体育心理学,体	①体育原理	2		
に		育経営管理学, 体育社会学」	①体育心理学	2		
関す		及び運動学(運動方法学等を含	①体育経営管理学	2	0.4	
る科		む。)	①体育社会学	2	2 4	
科 目			◎運動学	2		
			運動方法学	2		
		生理学(運動生理学を含む。)	◎生理学	2		
			運動生理学	2		
		衛生学及び公衆衛生学	◎衛生・公衆衛生学	2		
		学校保健(小児保健,精神保健,	◎学校保健	2		
		学校安全及び救急処置を含む。)				
	教科及	び教科の指導法に関する科目における	保健体育科内容構成	2		
	複数♂	事項を合わせた内容に係る科目				
	各教	科の指導法(情報通信技術の活	◎保健体育科教育法	2		
	用を	含む。)	保健体育科教育論	2		
			◎保健体育科授業研究 I	2		
			保健体育科授業研究Ⅱ	2		

- ・◎は必修科目。
- ・丸数字は、同じ丸数字の内で1科目以上選択必修。
- ・「教科に関する専門的事項」の各区分内は必ず1科目以上修得すること。

科目区分	授業科目及び単位	免許所要単位	備 考
11日区为	技条行口及び年世	1種	7/H 1/5
大学が独自 に設定する 科目	人権教育 2 教育実践プレ演習 1 生涯学習概論 2 教職研究 I 2 総合的学習論 2 授業実践論 2 教職研究 II 2 介護実践演習 1 学校インターンシップ I A 1 学校インターンシップ I B 1 学校インターンシップ II A 1 学校インターンシップ II B 2 学級経営論 2	1 2	

[・]最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」, 「教育の基礎的理解に関する科目」 又は「道徳,総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導,教育相談等に関する科目」を含む。

⑩高等学校免許教科「工業」を取得する場合の教科に関する専門教育科目

科目	区分	免許科目	授業科目及び単位		免許所要単位 1種	備	考
施行規則に掲げる教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	職業指導	 ○木材加工法 I 木材加工法 I ○金楓杖工学 I ○機械工学 I 機械工学 I 電気「報基礎 I 情報基礎 I 情算機 ウエア工学演習 職業指導概論 	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 4		
科 目 		科の指導法(情報通信技術の活 含む。)	◎工業教育法◎工業授業研究	2 2			

- ・○は必修科目。
- ・「教科に関する専門的事項」の各区分内は必ず1科目以上修得すること。

利日区八	極業初日17.4.8.15.15.15.15.15.15.15.15.15.15.15.15.15.	免許所要単位	供 耂
科目区分	授業科目及び単位	1種	備考
大学が独自 に設定する 科目	人権教育 2 教育実践プレ演習 1 生涯学習概論 2 教職研究 I 2 総合的学習論 2 授業実践論 2 教職研究 II 2 介護実践演習 1 学校インターンシップ I A 1 学校インターンシップ I B 1 学校インターンシップ II A 1 学校インターンシップ II B 2 学級経営論 2	1 2	

[・]最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」,「教育の基礎的理解に関する科目」 又は「道徳,総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導,教育相談等に関する科目」を含む。

⑪高等学校免許教科「家庭」を取得する場合の教科に関する専門教育科目

科目	区分	免許科目	授業科目及び単位		免許所要単位 1種	備	考
施行規則	教科	家庭経営学(家族関係学及び家庭	◎家庭経営学	2			
	科 に	経済学を含む。)	◎家族関係学	2			
	関	被服学(被服製作実習を含む。)	◎被服学 I	2			
に 掲	する		被服学Ⅱ	2			
げ	専		◎被服学実習	1			
則に掲げる教科及び教科の	門的	食物学(栄養学, 食品学及び調理実	◎食物学 I	2			
科	事	習を含む。)	食物学Ⅱ	2			
及 び	項		◎調理学実習 I	1			
教			調理学実習Ⅱ	1			
科 の		住居学(製図を含む。)	◎住居学 I	2			
指道			住居学Ⅱ	2	2 4		
法		保育学(実習及び家庭看護を含	◎保育学 I	2			
指導法に関する		む。)	保育学Ⅱ	2			
すっ		家庭電気・機械及び情報処理	◎家庭電気・機械	2			
る 科			◎生活情報処理	2			
科目	教科及	・ とび教科の指導法に関する科目における	家庭科内容構成	2			
	複数0)事項を合わせた内容に係る科目					
	各教科の指導法(情報通信技術の活		◎家庭科教育法	2			
	用を	含む。)	家庭科教育論	2			
			◎家庭科授業研究 I	2			
			家庭科授業研究Ⅱ	2			

- ・◎は必修科目。
- ・「教科に関する専門的事項」の各区分内は必ず1科目以上修得すること。

科目区分	授業科目及び単位	免許所要単位	備考
村 日 色 万	1文条件日及び単位	1種	加 与
大学が独自 に設定する 科目	人権教育 2 教育実践プレ演習 1 生涯学習概論 2 教職研究 I 2 総合的学習論 2 授業実践論 2 教職研究 II 2 介護実践演習 1 学校インターンシップ I A 1 学校インターンシップ I B 1 学校インターンシップ II A 1 学校インターンシップ II B 2 家庭科教育演習 2 学級経営論 2	1 2	

[・]最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」, 「教育の基礎的理解に関する科目」 又は「道徳,総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導,教育相談等に関する科目」を含む。

⑩高等学校免許教科「英語」を取得する場合の教科に関する専門教育科目

科目区分		免許科目	授業科目及び単位		免許所要単位 1種	備	考
施行規則に掲げる教科及び教科の指導法に関する科目	教科	英語学	◎英語音声学演習	1			
			◎英文法演習	1			
	に関		英語史	2			
	す		◎英語学概論	2			
	る専門的事項		英語学演習	2			
		英語文学	◎英語圏文学概論	2			
			◎英語圏文学演習	2			
		英語コミュニケーション	◎英会話	2			
			◎英作文 I	1			
		異文化理解	英作文Ⅱ	1			
			◎英語演習 I	1	2 4		
			英語演習 II·III·IV	各1	_ 1		
			異文化理解	2			
			異文化間コミュニケー				
			ション論	2			
	教科及	とび教科の指導法に関する科目における	英語科内容構成	2			
	複数の)事項を合わせた内容に係る科目					
	各教	 科の指導法(情報通信技術の活	◎英語科教育法	2			
		含む。)	英語科教育論	2			
			◎英語科授業研究 I	2			
			英語科授業研究Ⅱ	2			

- ・◎は必修科目。
- ・「教科に関する専門的事項」の各区分内は必ず1科目以上修得すること。

利日豆八	授業科目及び単位	免許所要単位	備考
科目区分	投耒村日及び単位	1種	1佣 石
大学が独自 に設定する 科目	人権教育 2 教育実践プレ演習 1 生涯学習概論 2 教職研究 I 2 総合的学習論 2 授業実践論 2 教職研究 II 2 介護実践演習 1 学校インターンシップ I A 1 学校インターンシップ I B 1 学校インターンシップ II A 1 学校インターンシップ II B 2 学級経営論 2	1 2	

[・]最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」,「教育の基礎的理解に関する科目」 又は「道徳,総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導,教育相談等に関する科目」を含む。

ウ「特別支援学校」の免許を取得する場合の特別支援教育に関する専門科目 (教育学部専門科目と教育職員免許法施行規則に掲げる科目との対照表)

					左記に対応する開設授業科目					免許所要単位	
免許科目		1種 2種		種						2 種	
		知·肢·病	知 • 肢	知 · 病	授業科目		中心となる領域	含む領域	1 種		
特別支援教育の基礎理論に関する科目		0	0	0	特別支援教育の理念と実際	2					
					障害児教育学演習I	1			2	2	
					障害児教育学演習Ⅱ	1					
		0	0	0	障害児心理学	2	知的障害者	肢体不自由者 病弱者			
		0			障害児医学・生理学	2	知的障害者	肢体不自由者 病弱者			
	心身に障害のあ	0		0	病弱児の病態生理	2	病弱者				
	る幼児、児童又	0	0		肢体不自由児の心理・病理	2	肢体不自由者				
	は生徒の心理、				障害児心理学演習I	1	知的障害者				
特別支援	生理及び病理に				障害児心理学演習Ⅱ	1	知的障害者				
教育領域	関する科目				障害児病理学演習I	1	知的障害者				
に関する					障害児病理学演習Ⅱ	1	知的障害者		16	8	
科目	心身に障害のあ る幼児, 児童又 は生徒の教育課 程及び指導法に 関する科目	0	0	0	特別支援教育課程論	2	知的障害者	肢体不自由者 病弱者			
		0			特別支援教育指導法	2	知的障害者	肢体不自由者 病弱者			
		0		0	病弱児の指導法	2	病弱者	71111			
		0	0		肢体不自由児の指導法	2	肢体不自由者				
					障害児教授学演習 I	1	知的障害者				
					障害児教授学演習Ⅱ	1	知的障害者				
免許状に	・心身に障害の	0			視覚の発達と障害	2	視覚障害者			1	
定められ	ある幼児, 児童 又は生徒の心	0			聴覚の発達と障害	2	聴覚障害者				
ることと なる特別 支援教育	理,生理及び病 理に関する科目 ・心身に障害の ある幼児,児童 又は生徒の教育 課程及び指導法 に関する科目	0	0	0	発達障害児の教育と心理・生理	2	重複・LD 等領域	視覚障害者 聴覚障害者 病弱者			
領域以外の領域に関する科目		©	0	©	重度・重複障害児の療育指導	2	重複・LD 等領域	視覚障害者 聴覚障害者 肢体不自由者	5	3	
心身に障害のある幼児, 児童又は生徒についての 教育実習		0	0	0	教育実習 (特別支援学校) 特別支援教育実践演習	2			3	3	
計		27	17	17			v	v	26	16	

[・]表中の◎は必修、○はどちらか一つを必ず選択する。

^{・2}種の場合は(知・病)もしくは(知・肢)のどちらかを選択すること。